

「システムの復元」の
実施手順書

目次

はじめに必ずお読み下さい	2
1. 「システムの復元」を実施する	3
1.1 システムの復元画面を表示する	3
1.2 システムの復元を実行する	5

はじめに必ずお読み下さい

このページの説明では、サポート詐欺や副業詐欺などで遠隔操作をされてしまった場合や、偽対策ソフト被害などで不要なアプリをインストールしてしまった場合の復旧方法として、「システムの復元」の実施手順について説明しています。

システムの復元は、Windows に搭載されているファイルシステムを以前の状態に戻す機能で、以下の注意事項を必ずお読みください。

- ✓ お使いのパソコンの環境によっては、本書に掲載している画面の図と異なる場合や、手順通りに進められない場合があります。その場合は、お使いのパソコンメーカー（Web サイトの FAQ、サポート窓口等）にて、ご確認ください。
- ✓ システムの復元は、システムドライブの保護機能が『有効』になっている必要があります。『無効』になっている場合や、『有効』になっていても復元ポイントが存在しない場合はシステムの復元ができませんので、システムの回復またはパソコンの初期化を行ってください。
- ✓ システムの復元は、システムの状態が復元ポイントを作成された日時の状態に復元され、「ドキュメントや画像、その他の個人データには影響はありません」と表示されますが、IPA はその保証はいたしかねます。あらかじめご了承ください。また、システムの復元が正常に終了しなかった場合にどのような影響が出るか予測できません。そのため、大切なデータは事前にバックアップを取ってください。
- ✓ システムの復元が完了するまでに、パソコンの状態によって異なりますが、数時間から半日程度の時間がかかる場合がありますので、途中で電源が切れないようにしてください。ノートパソコンの場合は、必ず電源アダプターを接続してください。
- ✓ ウイルス対策ソフトがシステムの復元の障害になる場合があります。システムの復元を開始する前に、ウイルス対策ソフトを「一時的に無効」にすることを勧めします。

1. 「システムの復元」を実施する

1.1 システムの復元画面を表示する

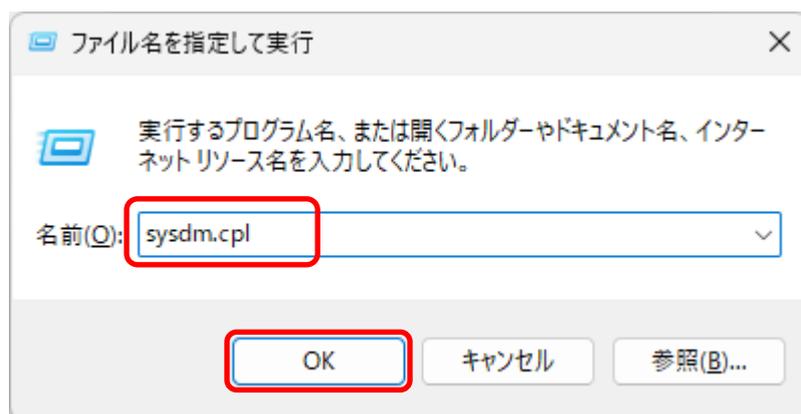
1.1.1 キーボードの Windows ロゴキー( または ) と「R」キーを同時に押します。

キーボード上のキーの場所の例



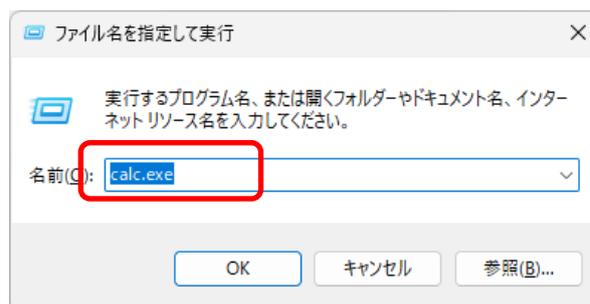
1.1.2 「ファイル名を指定して実行」画面が表示されますので、下記の文字を入力して、「OK」ボタンをクリックします。英文字は大小を問いませんが、半角文字で入力する必要があります。

sysdm.cpl (エス、ワイ、エス、ディー、エム、ドット、シー、ピー、エル)



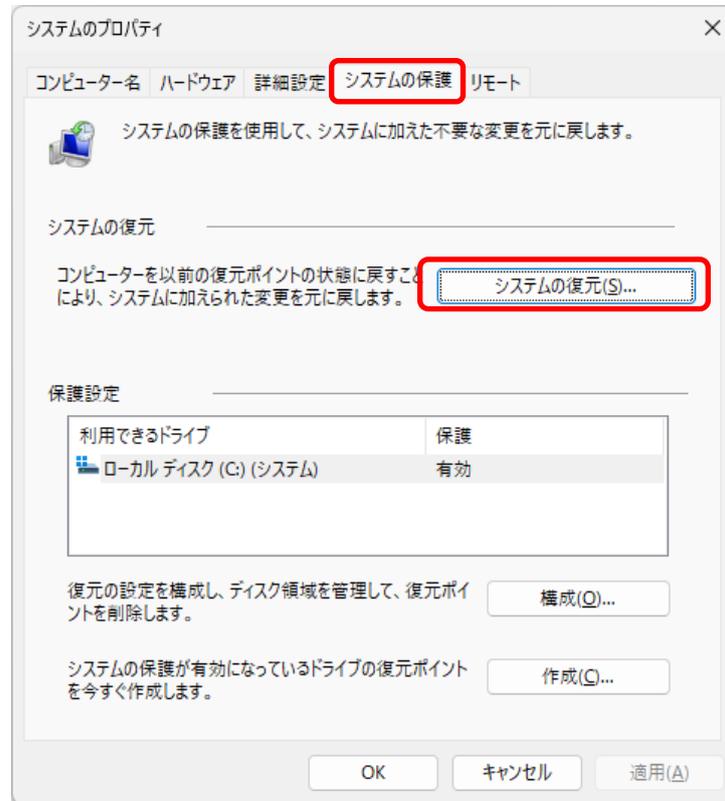
(ご参考)

「ファイル名を指定して実行」画面が表示されたときに、右図のように既に何らかの文字が入っている場合は、文字を消してから **sysdm.cpl** と入力してください。



1.1.3 「システムのプロパティ」画面が表示されますので、「システムの保護」をクリックします。

システムの保護をクリックしたあとの画面



1.1.4 上図の「システムの復元」ボタンをクリックします。

(参考) システムの復元ができない場合

利用できるドライブ	保護
ローカル ディスク (C:) (システム)	無効

このような場合は、システムの復元ができません。「キャンセル」ボタンを押してシステムの復元を中止してください。以降の対処として、パソコンの初期化をご検討ください。パソコンの初期化はメーカーのヘルプや取扱説明書等をご参照ください。

「システムの復元」ボタンがグレーアウト（灰色の文字でボタンが押せない状態）のときは、システムの復元はできません。

（システム）と記載されているドライブの保護が「無効」と表示されている場合は、以前のシステムの状態が保存されてなく、復元ポイントが存在しないため、システムの復元はできません。

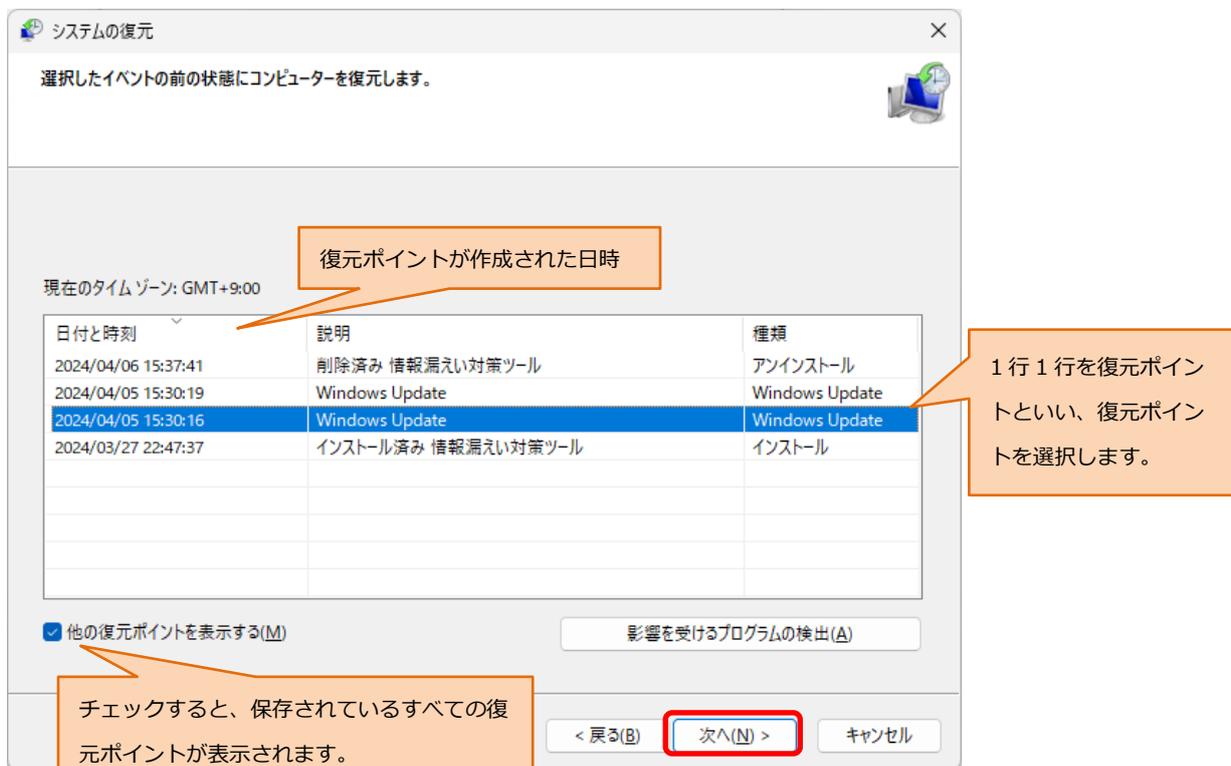
1.2 システムの復元を実行する

1.2.1 「次へ」ボタンをクリックします。

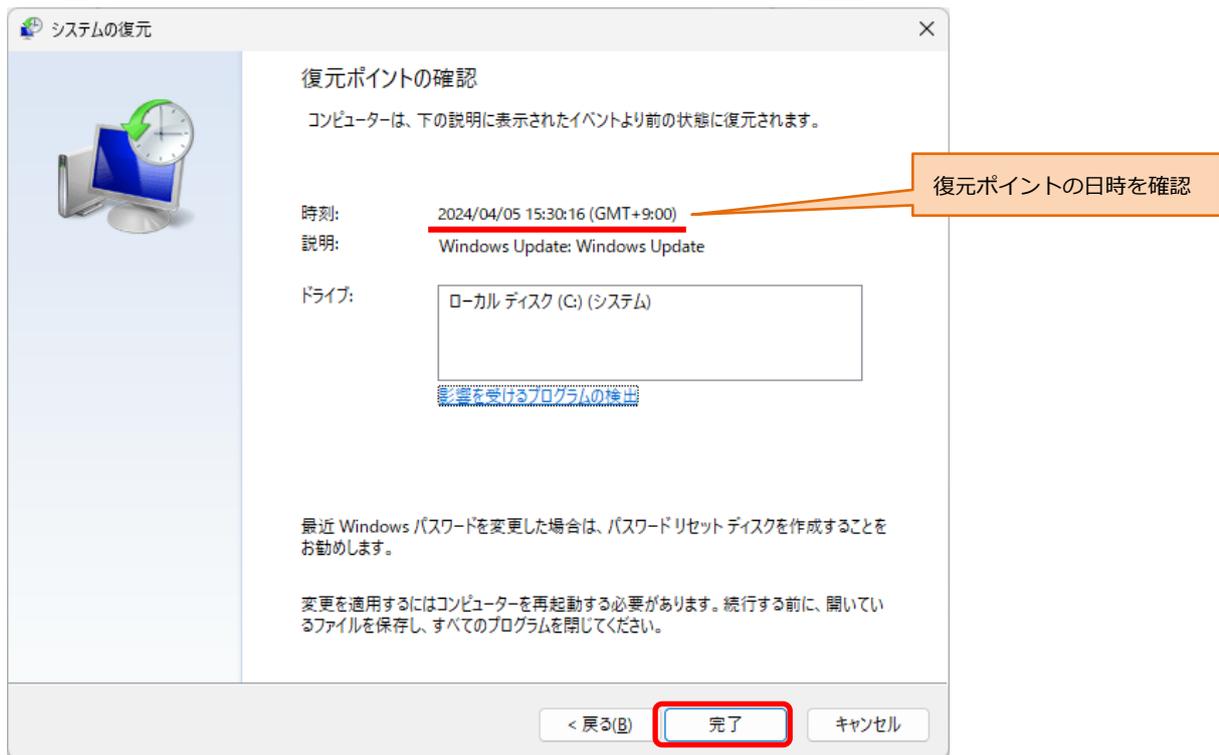


1.2.2 復元ポイントを選択して、「次へ」ボタンをクリックします。

復元ポイントは、遠隔操作や不審なアプリのインストール等の被害に遭う前の、正常な状態だった日時を選択します。保存されている復元ポイント以外の日時への復元はできません。

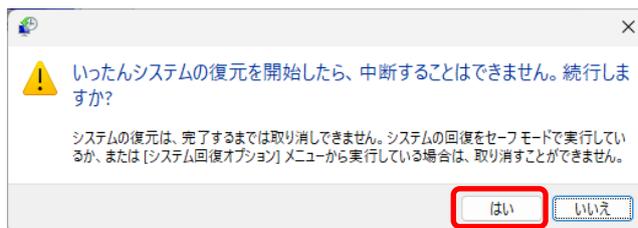


1.2.3 復元ポイントの日次を確認して、「完了」ボタンをクリックします。



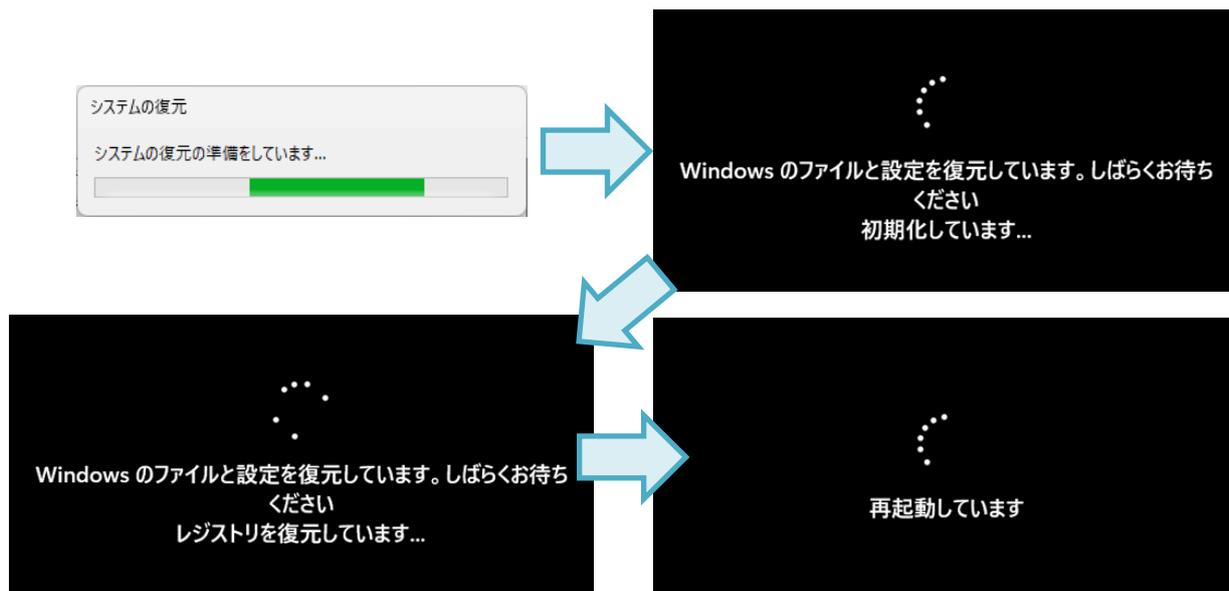
1.2.4 「いったんシステムの復元を開始したら…」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。

(ご参考) 本書を、システムの復元を実施するパソコン上でご覧になっている場合、「はい」ボタンをクリックしたあとは本書が読めなくなります。「はい」ボタンをクリックする前に、本書を最後までご覧いただき、このあとの流れをご確認されることをお勧めいたします。

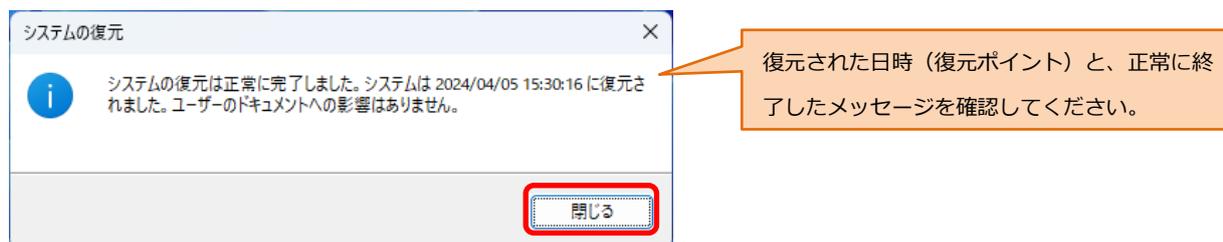


1.2.5 システムの復元が開始すると、終了するまで数十分から数時間を要すると考えられます。環境によって異なるので事前に所要時間を予測することは困難です。復元が終了すると、システムは自動的に再起動します。再起動までの間に、システムの復元が異常終了した場合などは、画面に表示されたメッセージに従って対処してください。

復元の開始から再起動までの画面遷移の一例



1.2.6 システムの復元が終了して自動的に再起動されると、Windows 起動時の画面（パソコンの電源を投入して Windows が起動したときの画面）になっています。サインインすると、システムの復元のメッセージが表示されますので、復元ポイントの日時の確認と、終了メッセージの確認をして「閉じる」ボタンをクリックしてください。



以上で、システムの復元は終了です。